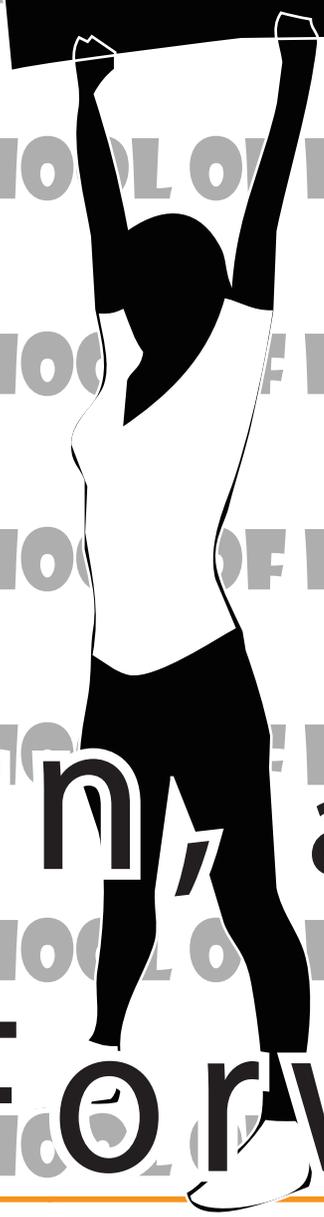


THE TOKYO SCHOOL OF LABOR THE TOKYO

THE TOKYO SCHOOL OF LABOR THE TOKYO

The 130th period

東京労働学校



THE TOKYO SCHOOL OF LABOR THE TOKYO

Learn, and
Go Forward.

TOKYO GAKUSHU KAIGI

HP:<http://www.gakusyuukaigi.org>

E-MAIL:gakusyuukaigi@gmail.com

TEL:03-5842-5646



HP

THE TOKYO SCHOOL OF LABOR THE TOKYO

現代労働組合講座

Tue.19:00-21:00 全4回 ¥5,000 聴講 ¥1,500/回

① 5/10(火) 地域労働運動と闘うナショナルセンター ～地域の視点からナショナルセンターの役割を考える～

【ゲスト】屋代 眞 (やしろ・まこと / 東京労連事務局長、新宿区労連副議長)

1986年、新宿区労連の前身組織に専従として入り、学習を重視する活動スタイルを確立。2000年に未組織労働者の受け皿として新宿一般を立ち上げ、「全ての労働者を視野に入れた労働運動」を地域で展開する情熱あふれる活動家。

② 5/17(火) 世界の労働運動から学ぶ ～海外の労働運動の教訓と国際連帯について考える～

【ゲスト】布施 恵輔 (ふせ・けいすけ / 全労連国際局長)

押しも押されもせぬわが国を代表する国際活動家。毎年のILO総会や結社の自由委員会などで彼の姿を見かけないシーンはない。英語、フランス語に長けており、各国ナショナルセンターの大会などを通じて世界の労働組合活動家と親交をはかる。

③ 5/24(火) 労働法制改悪の争点と労働者・労働組合の権利 ～働くルールって何だ？労働法と職場の人権を考える～

【ゲスト】今村 幸次郎 (いまむら・こうじろう / 弁護士)

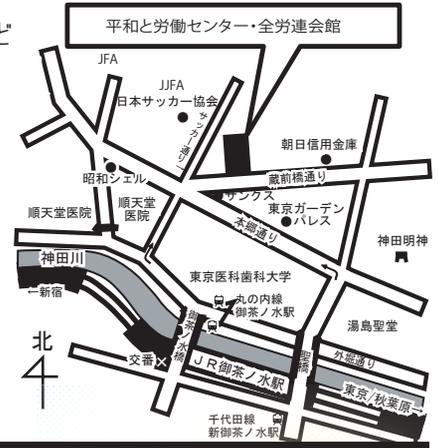
自由法曹団幹事長。労働事件を中心に労働者・市民の立場で活動。「温かく、柔らかく」をモットーに京王バス、NTTリストラ、新国立劇場、JAL解雇、葛飾ピラ配布弾圧事件など数多くの裁判を担当。著書・論文多数。

④ 5/31(火) 労働運動の新たな地平 ～労働組合って何だ？そのパワーと魅力を考える～

【ゲスト】寺間誠治 (てらま・せいじ / 福祉国家構想研究会事務局長、東京学習会議副会長)

全労連結成以来、理論と実践の先頭に立って日本労働運動をけん引してきた、当講座のコーディネーター。国交労連中央執行委員、京都総評常任幹事、全労連・元政策総局長などを歴任。近著『労働運動の新たな地平』(2015)は労働運動にたずさわる者必読。

Place: 全労連会館3F



Thur.19:00-21:00

全4回 ¥5,000

聴講 ¥1,500

4回連続講座

韓国社会運動・労働運動講座

韓国社会運動 【講師】桔川純子 (きっかわ・じゅんこ / 明治大学兼任講師)

① 5/12(木) 現代の韓国市民運動はいかにして生まれたか？

朝鮮戦争以降、独裁政権下での民主化運動から、1990年代へ…。参与連帯を始めとした市民運動がさかんになっていくなかで、運動の 이슈も多様化していきます。現代史のなかで、どんな市民運動がいかにして誕生していったのか？を紹介します。

② 5/19(木) 住民たちの手で、地域コミュニティと民主主義を！

韓国社会は、セウォル号事件の前・後で大きく変化したと言われています。市民運動も、市民団体に「代弁してもらおう」運動だけにとどまらず、住民が主体となって、コミュニティでの関係性をつくりながら地域民主主義を形成していく動きが活発になってきました。現況と課題について考えます。

韓国労働運動 【講師】呉学殊 (おう・はくすう / 労働政策研究・研修機構主任研究員)

③ 5/26(木) 韓国の非正規組織化のいま、そして未来

政府の労働政策と、非正規の組織化のうえで実績をあげている5つの労組のとりくみを紹介！

④ 6/2(木) 産業別労働組合への転換をめざして！

韓国労働組合が進める企業別組織から産業別組織への転換とは？日本と同じく、企業別に組織されてきた韓国。その企業別組合主義からの脱却をめざす試みから、日本は学ぶところがあるかも？

Place: 東京労働会館地下

